

第26回「県内企業景気動向調査」 (平成23年2月調査)

【景気動向調査の要旨】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値」(前年同期比)でみて、▲7.5(0.5ポイント回復)でほぼ横ばいとなり、3期連続の下落は回避された。
- **業種別**にみると、建設業が▲20.3(4.5ポイント下落)で悪化、製造業で4.1(0.1ポイント下落)、サービス業で▲9.4(0.9ポイント上昇)でほぼ横ばい。卸・小売業では▲8.1(5.4ポイント上昇)と回復している。
- **地域別**では、村山南部が▲3.3(12.5ポイント上昇)、最上が▲3.8(18.6ポイント上昇)と2地域で大幅回復がみられ、置賜が6.1(1.5ポイント上昇)でほぼ横ばいとなった。一方で庄内田川が▲12.6(14.9ポイント下落)と大きく悪化しており、マイナスに転じた。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値」(前年同期比)が▲21.5(14.0ポイント下落)となっており、原油などの資源高騰や世界情勢の不安から、景気悪化への警戒心は継続している。

【特別調査：雇用について】

- 22年10月以降に実施した(あるいは実施している)雇用調整の状況について尋ねたところ、最も多かったのは「残業規制」の24.4%であった。また「ワークシェアリング」は22年度調査に比べて3.0ポイント低下、「従業員の削減」は0.7ポイント上昇した。昨年度よりも景気が回復していることを受けて雇用調整を実施している企業は減少傾向にある。

平成23年3月

株式会社フィデア総合研究所

目次

I. 山形県の景気動向	1
1. 概況	1
2. 業種別の動向	2
(1) 業種別の概況	2
(2) 業種別DI値の動向	3
① 建設業	3
② 製造業	4
③ 卸・小売業	5
④ サービス業	6
3. 地域別の動向	7
(1) 地域別の概況	7
(2) 地域別DI値の動向	8
① 村山南部	8
② 村山北部	9
③ 最上	10
④ 置賜	11
⑤ 庄内田川	12
⑥ 庄内飽海	13
II. 景気の天気予報図	14
III. 特別調査：雇用について	15
<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>	17
<参考資料Ⅱ：調査の概要>	17

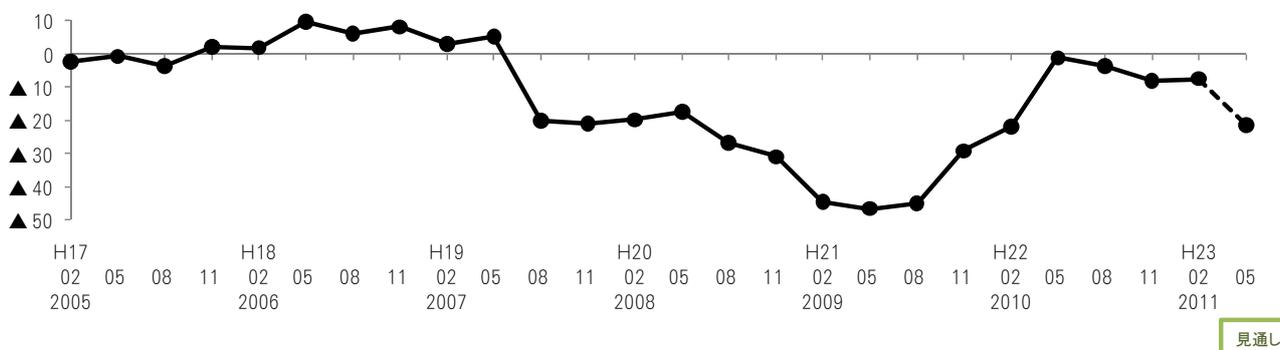
Ⅰ. 山形県の景気動向

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値」(前年同期比)でみて、▲7.5(0.5ポイント回復)でほぼ横ばいとなり、3期連続の下落は回避された。「各種D I 値」(前年同期比)では「売上高」、「営業利益」、「人手・人員」、「資金繰り」のすべてにおいてほぼ横ばい。

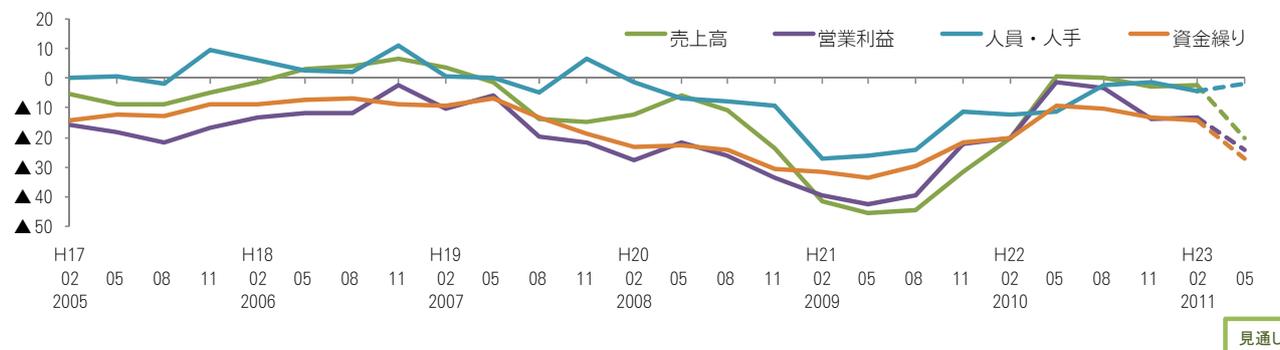
先行き見通しは、「自社の業況D I 値」(前年同期比)が▲21.5(14.0ポイント下落)となっており、原油などの資源高騰や世界情勢の不安から、景気悪化への警戒心は継続している。

図1 全業種「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



見通し

図2 全業種「各種D I 値」(前年同期比)の推移



見通し

山形県 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅				
H22.02(n=469)	▲21.9	(▲16.3)	▲33.7	11.8	▲20.3	▲20.3	▲12.3	▲20.1
H22.05(n=539)	▲1.2	(▲2.6)	▲31.5	30.3	0.7	▲1.3	▲11.1	▲9.1
H22.08(n=487)	▲3.6	(3.7)	▲16.9	13.3	0.2	▲3.5	▲2.2	▲10.3
H22.11(n=475)	▲8.0	▲6.5	▲12.7	4.7	▲2.7	▲13.5	▲1.2	▲13.1
H23.02(n=491)	▲7.5	(▲6.7)	▲26.4	18.9	▲2.2	▲13.2	▲4.1	▲14.3
変化幅	0.5	▲0.2	-	-	0.5	0.3	▲2.9	▲1.2
H23.05(n=491)	▲21.5	-	-	-	▲20.0	▲24.4	▲1.6	▲27.1
来期予測 変化幅	▲14.0	-	-	-	▲17.8	▲11.2	2.5	▲12.8

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

2. 業種別の動向

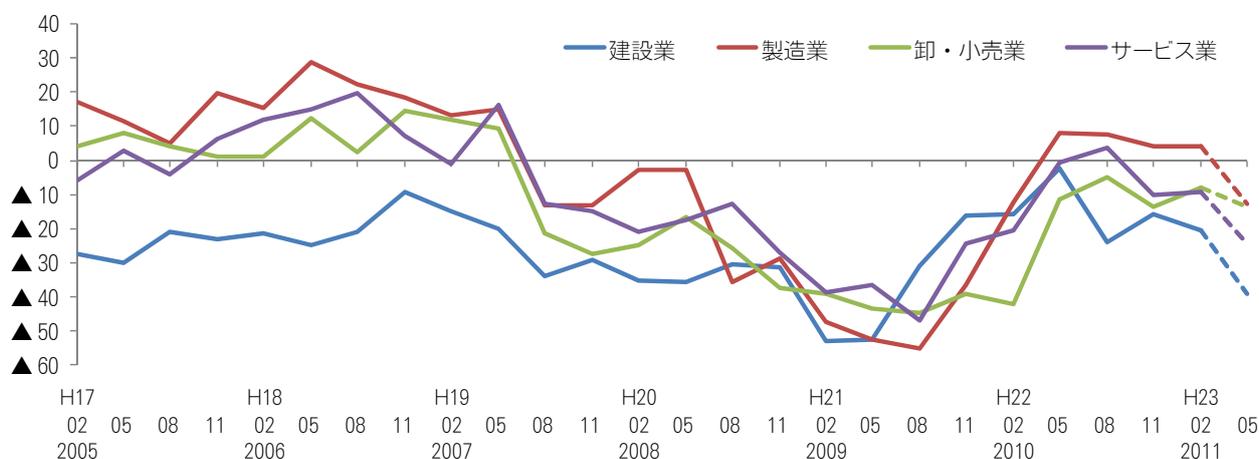
(1) 業種別の概況

業種別に業況をみると、建設業が▲20.3(4.5ポイント下落)で悪化、製造業が4.1(0.1ポイント下落)、サービス業が▲9.4(0.9ポイント上昇)でほぼ横ばい。卸・小売業では▲8.1(5.4ポイント上昇)、と回復している。

県内の産業構造においてウェイトが高い製造業が業況を維持していることと、卸・小売業の回復が景気の後退を防いだ結果となった。

なお、業況の先行き見通しは全業種において悪化する見通しである。

図3 業種別「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



見通し

業種別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H22.02(n=469)	▲21.9	▲15.7	▲12.4	▲41.9	▲17.7
H22.05(n=539)	▲1.2	▲2.5	8.2	▲11.4	▲0.8
H22.08(n=487)	▲3.6	▲24.1	7.7	▲5.0	3.6
H22.11(n=475)	▲8.0	▲15.8	4.2	▲13.5	▲10.3
H23.02(n=491)	▲7.5	▲20.3	4.1	▲8.1	▲9.4
変化幅	0.5	▲4.5	▲0.1	5.4	0.9
H23.05(n=491)	▲21.5	▲39.0	▲12.9	▲13.7	▲24.3
来期予測 変化幅	▲14.0	▲18.7	▲17.0	▲5.6	▲14.9

(2) 業種別D I 値の動向

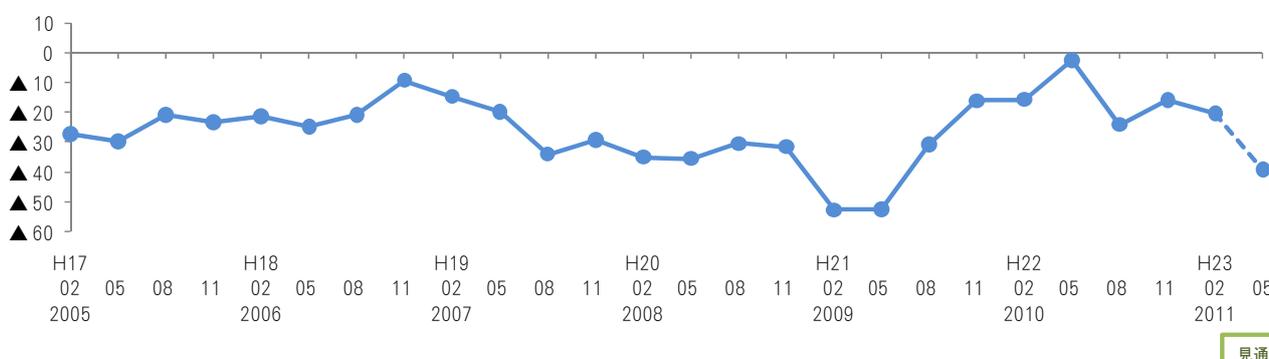
① 建設業

業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲20.3(4.5 ポイント下落)となっており、やや悪化となっている。大雪による除雪作業の売上があったが、公共工事と民間工事の減少幅が大きい。

「各種D I 値」(前年同期比)では「営業利益D I 値」で▲29.2(0.4 ポイント上昇)と依然低水準であり、低価格入札により利益確保が困難となっている。

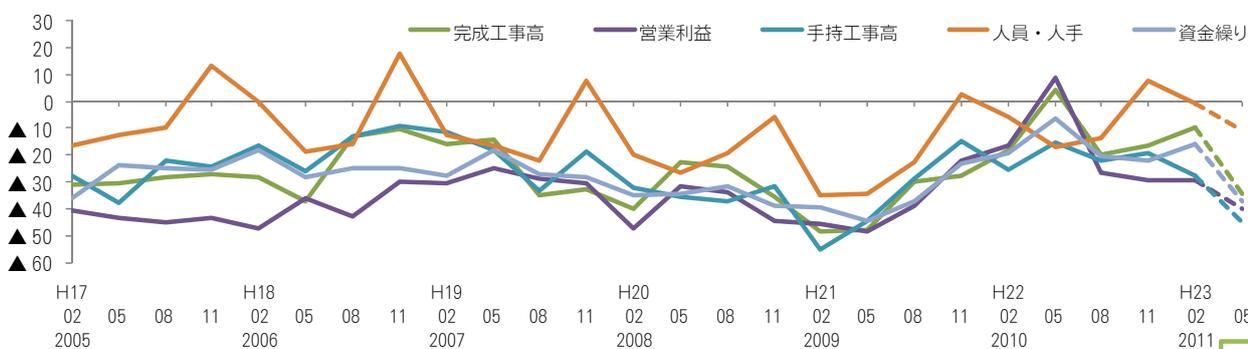
なお、業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」(前年同期比)が▲39.0(18.7 ポイント下落)と厳しい状態が続く見通しである。

図4 建設業「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



見通し

図5 建設業「各種D I 値」(前年同期比)の推移



見通し

調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				完成工事高	営業利益	手持工事高	人員・人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測	乖離幅						
H22.02 (n=121)	▲15.7 (▲13.2)	▲45.9	30.2	▲18.2	▲16.5	▲25.6	▲5.8	▲19.0	
H22.05 (n=122)	▲2.5 (▲7.4)	▲59.5	57.0	4.1	9.0	▲15.5	▲17.2	▲6.6	
H22.08 (n=112)	▲24.1 (▲16.1)	▲42.7	18.6	▲19.7	▲26.7	▲22.3	▲13.4	▲20.6	
H22.11 (n=108)	▲15.8 (▲5.5)	▲35.7	19.9	▲16.7	▲29.6	▲19.4	7.4	▲22.2	
H23.02 (n=113)	▲20.3 (▲14.1)	▲38.8	18.5	▲9.7	▲29.2	▲27.4	▲0.9	▲15.9	
変化幅	▲4.5	▲8.6	-	7.0	0.4	▲8.0	▲8.3	6.3	
H23.05 (n=113)	▲39.0	-	-	▲34.5	▲39.8	▲45.2	▲10.6	▲37.1	
来期予測 変化幅	▲18.7	-	-	▲24.8	▲10.6	▲17.8	▲9.7	▲21.2	

② 製造業

業況は、前年同期比、前期比とも「良い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は 4.1(0.1 ポイント下落)でほぼ横ばいとなった。但し、「各種D I 値」(前年同期比)では「売上高D I 値」が一年ぶりにマイナスに転じ、「営業利益D I 値」もマイナス幅を拡大するなど注視する必要がある。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」(前年同期比)が▲12.9(17.0 ポイント下落)である。県内製造業は外需に依存するところが大きく、円高、資源高、不安定な政治情勢などの不安が現れているものと思われる。

図 6 製造業「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

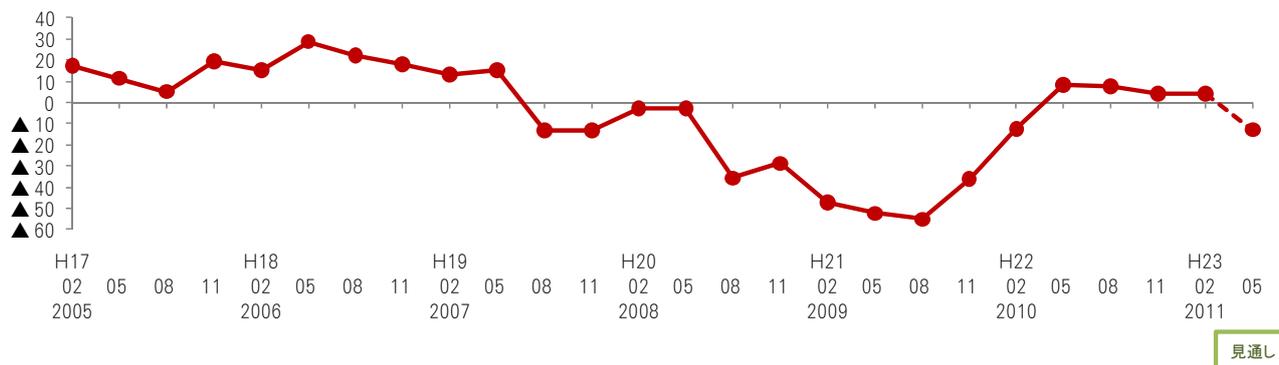
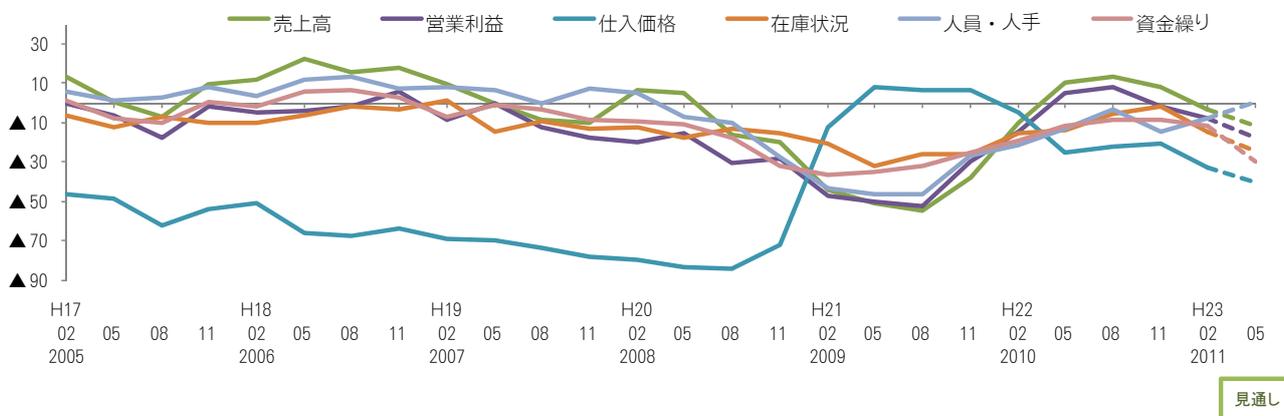


図 7 製造業「各種D I 値」の推移(前年同期比)の推移



調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測	乖離幅							
H22.02 (n=145)	▲ 12.4	(▲ 5.5)	▲ 29.4	17.0	▲ 9.7	▲ 14.5	▲ 4.8	▲ 15.2	▲ 21.4	▲ 19.3
H22.05 (n=158)	8.2	(1.3)	▲ 13.1	21.3	10.1	5.0	▲ 25.3	▲ 13.9	▲ 13.3	▲ 11.4
H22.08 (n=142)	7.7	(16.9)	▲ 1.3	9.0	13.4	7.7	▲ 21.8	▲ 5.6	▲ 3.5	▲ 8.4
H22.11 (n=142)	4.2	(▲ 9.2)	1.4	2.8	7.7	▲ 1.4	▲ 20.5	▲ 1.4	▲ 14.8	▲ 8.4
H23.02 (n=147)	4.1	(3.4)	▲ 23.2	27.3	▲ 3.4	▲ 7.5	▲ 32.6	▲ 14.3	▲ 8.1	▲ 11.6
変化幅	▲ 0.1	(12.6)	-	-	▲ 11.1	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 12.9	6.7	▲ 3.2
H23.05 (n=147)	▲ 12.9	-	-	-	▲ 11.6	▲ 17.7	▲ 40.1	▲ 24.5	0.6	▲ 29.9
来期予測 変化幅	▲ 17.0	-	-	-	▲ 8.2	▲ 10.2	▲ 7.5	▲ 10.2	8.7	▲ 18.3

③ 卸・小売業

業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲8.1(5.4ポイント上昇)となり、若干の回復がみられた。「各種D I 値」(前年同期比)では「売上高D I 値」が8.1(13.2ポイント上昇)と大幅に回復した。冬季賞与の増加により、年末年始の売上げ好調が反映したと思われる。一方で「仕入れ価格D I 値」は▲25.8(10.6ポイント下落)となり、食料品などの仕入れ価格が天候不順により上昇していることが影響している。

なお、業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」(前年同期比)が▲13.7(5.6ポイント下落)となっており、やや悪化の見込み。

図8 卸・小売業「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

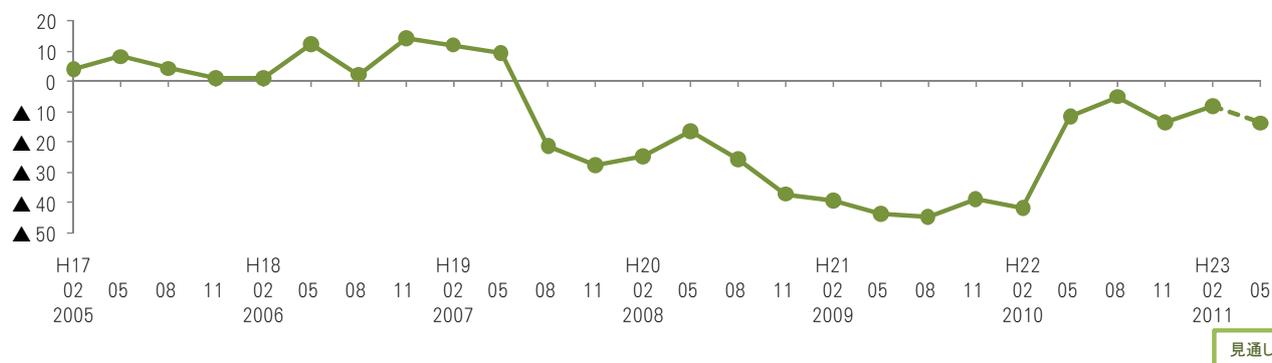
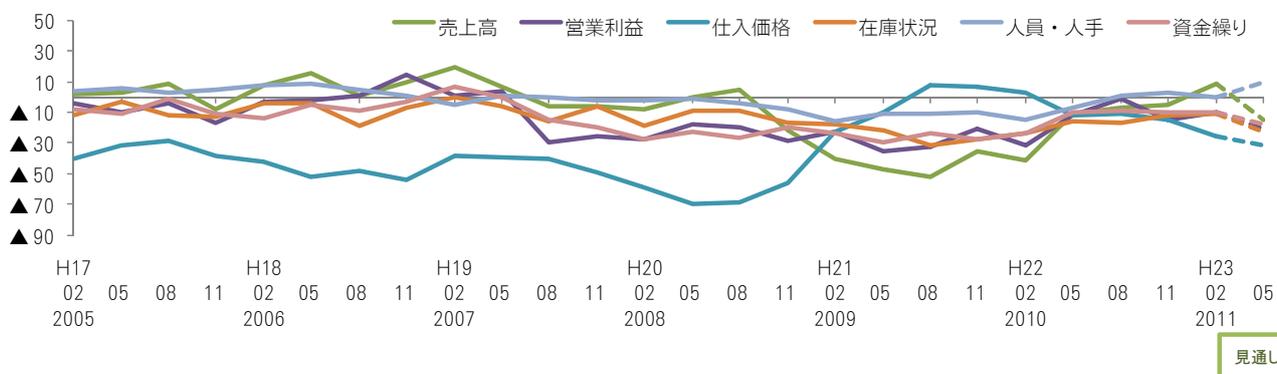


図9 卸・小売業「各種D I 値」(前年同期比)の推移



調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測	乖離幅							
H22. 02 (n=124)	▲ 41.9	(▲ 41.1)	▲ 33.0	▲ 8.9	▲ 41.2	▲ 31.5	2.5	▲ 23.3	▲ 14.5	▲ 23.3
H22. 05 (n=132)	▲ 11.4	(▲ 5.3)	▲ 27.4	16.0	▲ 11.4	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 15.9	▲ 6.8	▲ 9.9
H22. 08 (n=122)	▲ 5.0	(0.0)	▲ 15.1	10.1	▲ 6.6	▲ 1.6	▲ 11.4	▲ 16.4	0.9	▲ 9.0
H22. 11 (n=119)	▲ 13.5	(▲ 6.7)	▲ 9.8	▲ 3.7	▲ 5.1	▲ 15.1	▲ 15.2	▲ 11.8	2.5	▲ 10.1
H23. 02 (n=124)	▲ 8.1	(▲ 10.5)	▲ 21.8	13.7	8.1	▲ 9.7	▲ 25.8	▲ 11.3	0.0	▲ 9.7
変化幅	5.4	(▲ 3.8)	-	-	13.2	5.4	▲ 10.6	0.5	▲ 2.5	0.4
H23. 05 (n=124)	▲ 13.7	-	-	-	▲ 14.5	▲ 21.0	▲ 31.5	▲ 22.6	9.6	▲ 17.8
来期予測 変化幅	▲ 5.6	-	-	-	▲ 22.6	▲ 11.3	▲ 5.7	▲ 11.3	9.6	▲ 8.1

④ サービス業

業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲9.4(0.9ポイント上昇)となり、ほぼ横ばいとなった。「各種D I 値」(前年同期比)では「売上高D I 値」がやや悪化している。

なお、業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値」(前年同期比)が▲24.3(14.9ポイント下落)となっており、大幅悪化の見込み。企業向けサービス業では公共工事の減少、経費削減により、売上が低下し、また個人向けサービス業ではデフレ、天候不順により飲食業、旅館業などで客単価が下がってきていることが反映している。

図 10 サービス業「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

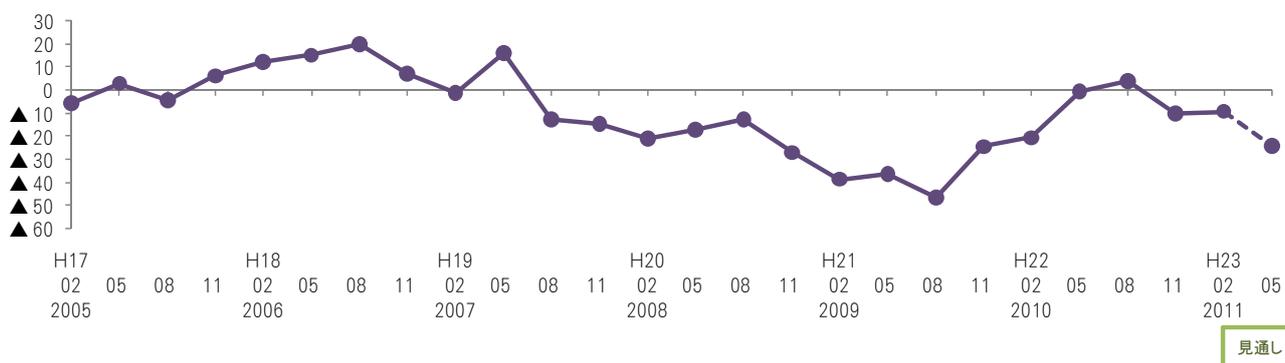
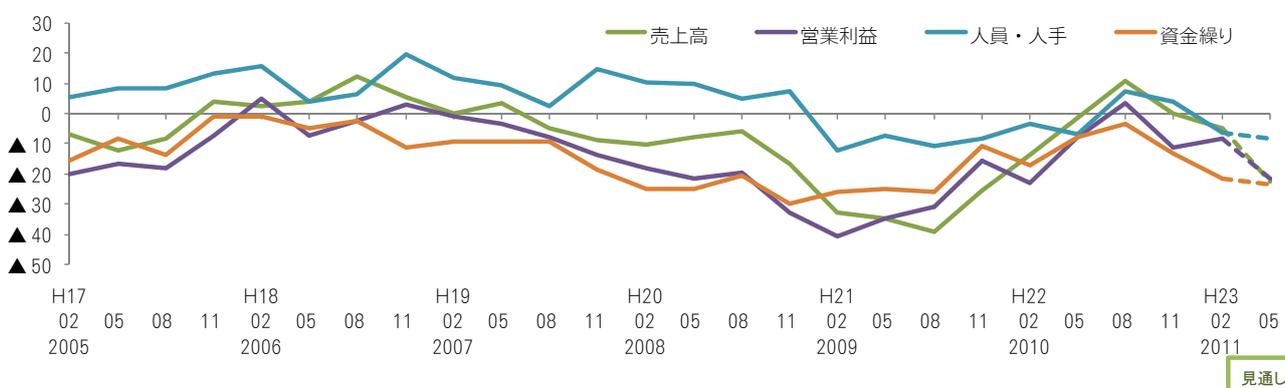


図 11 サービス業「各種D I 値」(前年同期比)の推移



調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員 人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測	乖離幅					
H22.02 (n=079)	▲17.7	(▲1.2)	▲27.0	9.3	▲10.1	▲19.0	▲2.6	▲17.7
H22.05 (n=127)	▲0.8	(0.0)	▲41.4	40.6	▲1.5	▲7.9	▲7.1	▲7.9
H22.08 (n=111)	3.6	(10.8)	▲13.4	17.0	10.8	3.6	7.2	▲3.6
H22.11 (n=106)	▲10.3	(▲3.7)	▲10.8	0.5	0.0	▲11.3	3.8	▲13.2
H23.02 (n=107)	▲9.4	(▲8.4)	▲22.6	13.2	▲4.7	▲8.4	▲6.6	▲21.5
変化幅	0.9	▲4.7	-	-	▲4.7	2.9	▲10.4	▲8.3
H23.02 (n=107)	▲24.3	-	-	-	▲22.4	▲21.5	▲8.5	▲23.3
来期予測	▲14.9	-	-	-	▲17.7	▲13.1	▲1.9	▲1.8

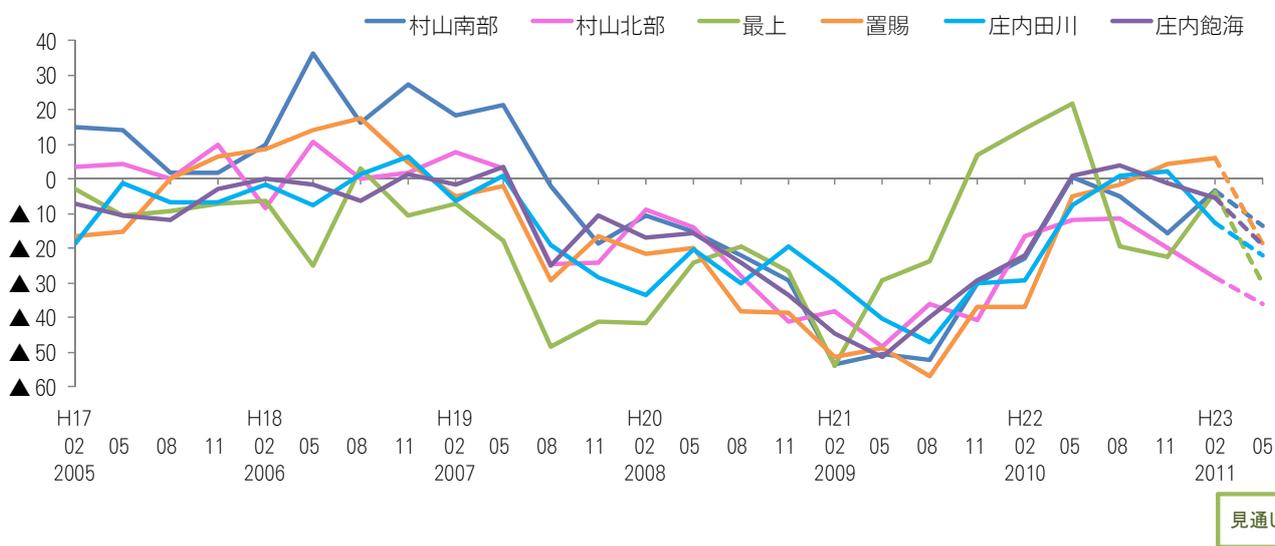
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に業況をみると村山南部が▲3.3(12.5 ポイント上昇)、最上が▲3.8(18.6 ポイント上昇)と2地域で回復がみられ、置賜が6.1(1.5 ポイント上昇)でほぼ横ばいとなった。一方で庄内田川が▲12.6(14.9 ポイント下落)と大きく悪化しており、マイナスに転じた。

なお、業況の先行き見通しは、すべての地域で悪化する見込みであり、とくに最上、置賜では大きな落ち込みが予想される。

図 12 地域別「自社業況DI値」(前年同期比)の推移



地域別 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H22. 02 (n=469)	▲ 21.9	▲ 22.9	▲ 16.3	14.6	▲ 37.0	▲ 29.3	▲ 21.8
H22. 05 (n=539)	▲ 1.2	0.7	▲ 11.6	22.0	▲ 5.1	▲ 7.6	1.0
H22. 08 (n=487)	▲ 3.6	▲ 4.9	▲ 11.5	▲ 19.5	▲ 1.5	1.1	3.8
H22. 11 (n=475)	▲ 8.0	▲ 15.8	▲ 20.0	▲ 22.4	4.6	2.3	▲ 1.1
H23. 02 (n=491)	▲ 7.5	▲ 3.3	▲ 28.2	▲ 3.8	6.1	▲ 12.6	▲ 5.3
変化幅	0.5	12.5	▲ 8.2	18.6	1.5	▲ 14.9	▲ 4.2
H23. 05 (n=491)	▲ 21.5	▲ 13.3	▲ 35.9	▲ 30.2	▲ 18.4	▲ 22.1	▲ 19.1
来期予測 変化幅	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 7.7	▲ 26.4	▲ 24.5	▲ 9.5	▲ 13.8

(2) 地域別D I 値の動向

① 村山南部

村山南部地域の業況は、前年同期比で「悪い」超。但し、「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲3.3(12.5 ポイント上昇)となり、回復がみられた。業種別にみると建設業が▲11.8(19.8 ポイント上昇)、卸・小売業が▲4.7(17.8 ポイント上昇)、サービス業が 6.0(28.8 ポイント上昇)と大きく改善した。一方で製造業が▲7.1(22.5 ポイント下落)とマイナスに転じている。

なお、業況の先行き見通しは、▲13.3(10.0 ポイント下落)となっており、とくにサービス業の落ち込みが懸念される。

図 13 村山南部「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

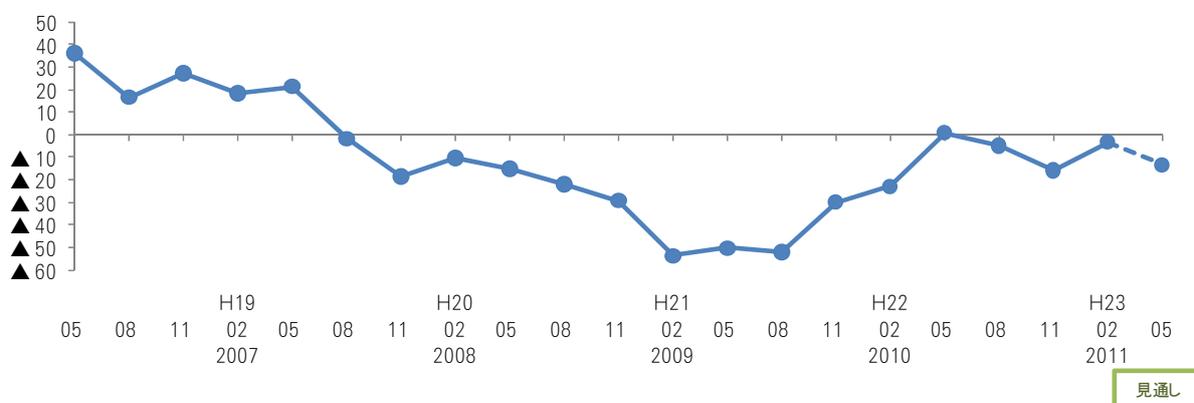
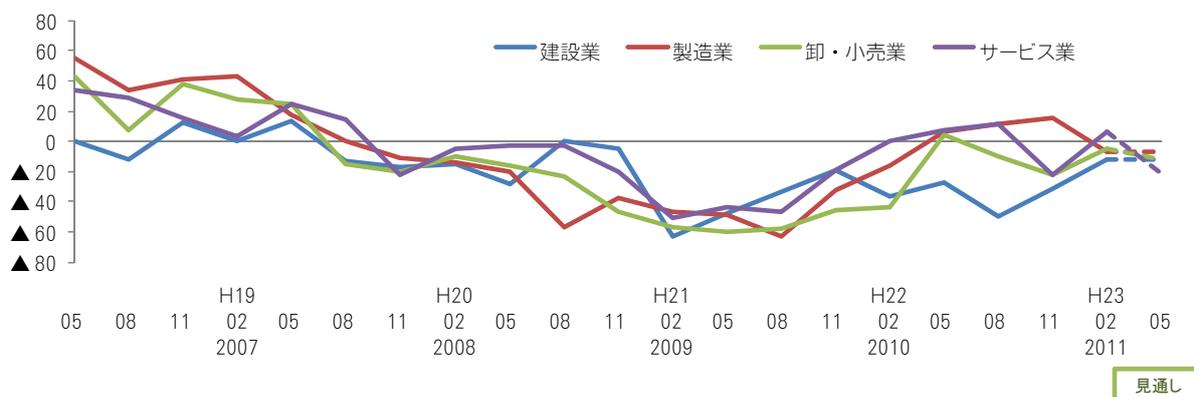


図 14 村山南部「業種別・自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



村山南部 調査時	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	▲22.9	(▲10.7)	▲23.9	1.0	▲14.5	▲11.4	▲8.4	▲19.1	▲36.3	▲16.6	▲43.5	0.0
H 22. 05	0.7	(2.8)	▲26.7	27.4	7.0	3.5	▲7.0	▲4.2	▲27.3	6.1	4.6	6.8
H 22. 08	▲4.9	(▲5.0)	▲7.7	2.8	▲2.4	1.6	1.7	▲8.3	▲50.0	11.5	▲9.7	11.2
H 22. 11	▲15.8	(15.9)	▲9.9	▲5.9	▲13.4	▲15.0	▲7.5	▲7.5	▲31.6	15.4	▲22.5	▲22.8
H 23. 02	▲3.3	(5.8)	▲18.4	15.1	0.0	▲0.8	▲1.7	▲10.8	▲11.8	▲7.1	▲4.7	6.0
変化幅	12.5	▲10.1	-	-	13.4	14.2	5.8	▲3.3	19.8	▲22.5	17.8	28.8
H 23. 05	▲13.3	-	-	-	▲10.0	▲14.2	▲4.2	▲19.1	▲11.8	▲7.1	▲11.9	▲21.2
来期予測	変化幅	▲10.0	-	-	▲10.0	▲13.4	▲2.5	▲8.3	0.0	0.0	▲7.2	▲27.2

② 村山北部

村山北部地域の業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲28.2(8.2ポイント下落)となりやや悪化した。業種別にみると、公共工事の減少により建設業が▲57.2(32.2ポイント下落)と大幅悪化が見られた。

なお、業況の先行き見通しは、▲35.9(7.7ポイント下落)となり、とくにサービス業が▲58.3(41.7ポイント下落)で、要注意となっている。

図 15 村山北部「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

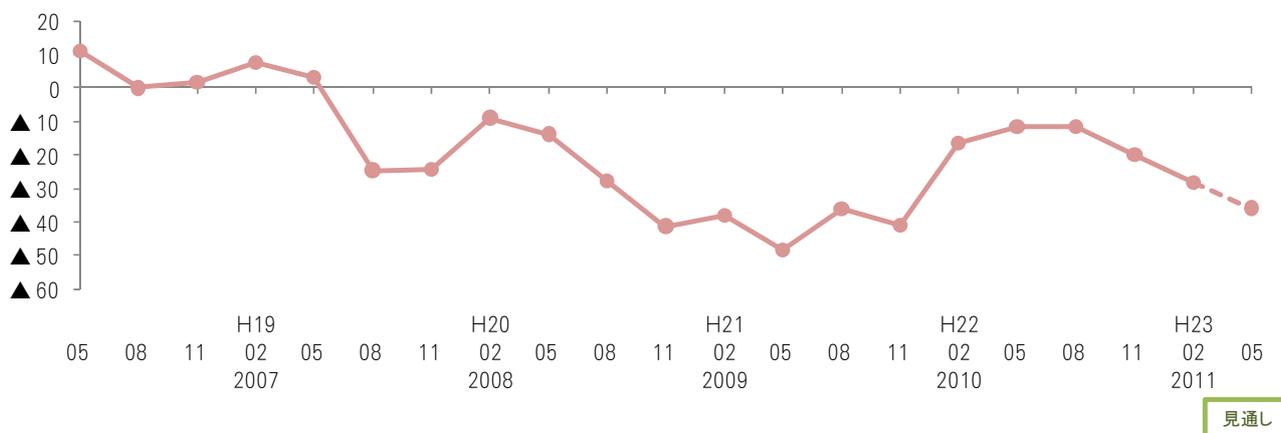
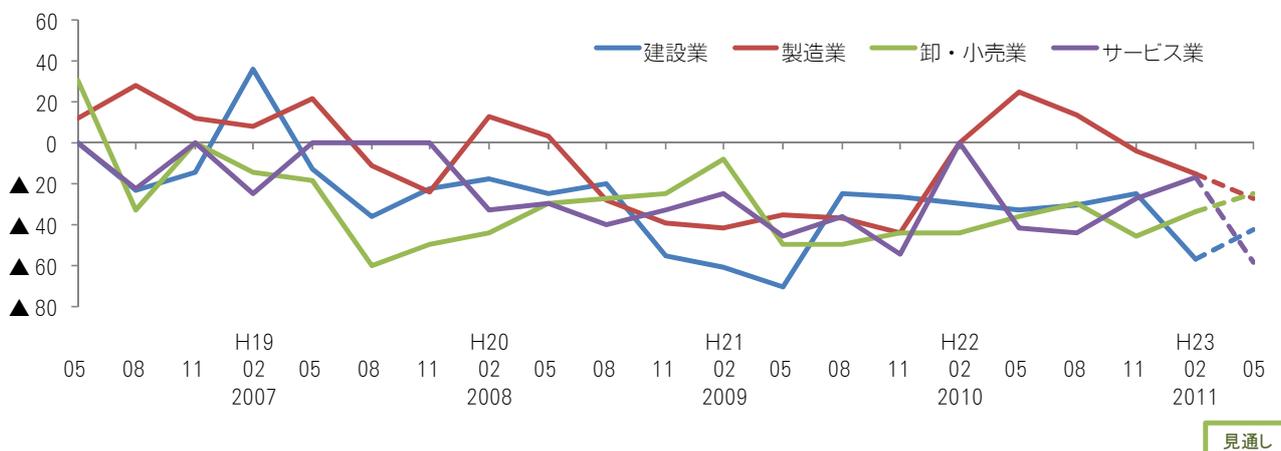


図 16 村山北部「業種別・自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



村山北部 調査時	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	▲ 16.3	(▲ 7.3)	▲ 37.9	21.6	▲ 25.5	▲ 18.2	▲ 18.1	▲ 12.8	▲ 29.4	0.0	▲ 44.5	0.0
H 22. 05	▲ 11.6	(▲ 2.9)	▲ 38.2	26.6	▲ 4.4	▲ 13.0	▲ 20.3	▲ 13.0	▲ 33.3	25.0	▲ 36.4	▲ 41.7
H 22. 08	▲ 11.5	(3.3)	▲ 7.2	▲ 4.3	0.0	▲ 14.7	▲ 20.3	▲ 13.2	▲ 30.8	13.8	▲ 30.0	▲ 44.4
H 22. 11	▲ 20.0	(▲ 20.0)	▲ 8.2	▲ 11.8	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 11.6	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 3.9	▲ 45.4	▲ 27.3
H 23. 02	▲ 28.2	(▲ 25.0)	▲ 33.3	5.1	▲ 17.2	▲ 34.4	▲ 18.8	▲ 28.1	▲ 57.2	▲ 15.4	▲ 33.4	▲ 16.6
変化幅	▲ 8.2	▲ 5.0	-	-	▲ 12.2	▲ 14.4	▲ 7.2	▲ 18.1	▲ 32.2	▲ 11.5	12.0	10.7
H 23. 05	▲ 35.9	-	-	-	▲ 40.6	▲ 42.2	▲ 4.7	▲ 28.1	▲ 42.9	▲ 27.0	▲ 25.0	▲ 58.3
来期予測	変化幅	▲ 7.7	-	-	▲ 23.4	▲ 7.8	14.1	0.0	14.3	▲ 11.6	8.4	▲ 41.7

③ 最上

最上地域の業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。但し、「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲3.8(18.6ポイント上昇)となり、回復がみられた。業種別にみると建設業を除いた3業種が回復しており、とくに製造業が18.2(68.2ポイント上昇)と大幅回復している。

なお、業況の先行き見通しは、▲30.2(26.4ポイント下落)となっている。昨年度のような尾花沢新庄道路関係の公共工事が減り、建設業で▲57.9(36.8ポイント下落)と悪化する見込み。

図 17 最上「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

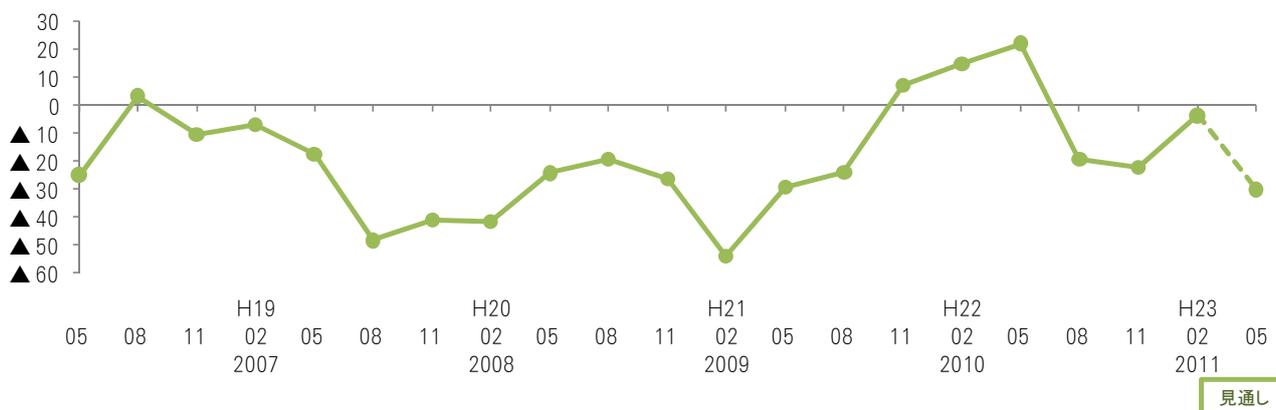
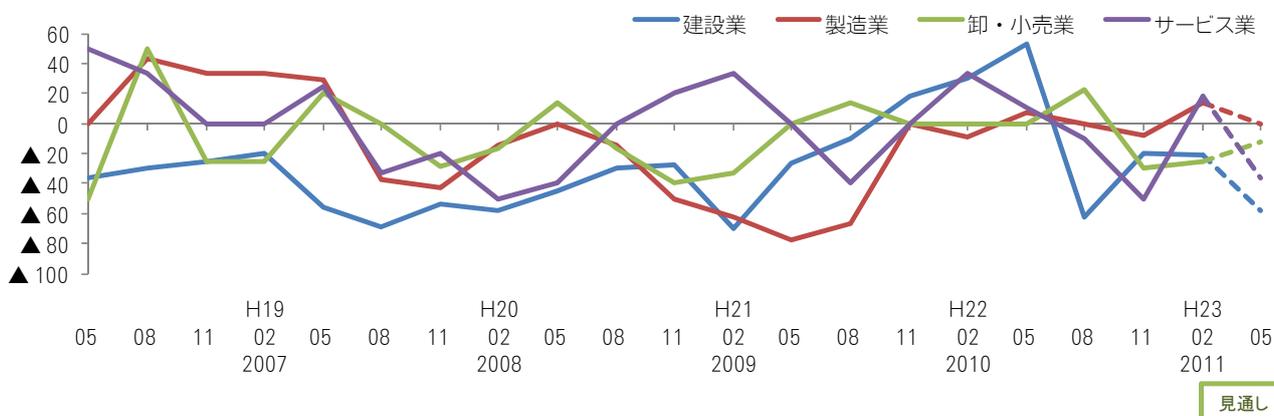


図 18 最上「業種別・自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



調査時	最上 自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	14.6	(14.6)	▲30.2	44.8	12.2	9.7	4.9	▲4.9	30.0	▲9.1	0.0	33.3
H 22. 05	22.0	(0.0)	▲24.4	46.4	24.0	24.0	6.0	8.0	52.9	7.2	0.0	10.0
H 22. 08	▲19.5	(▲15.2)	▲38.0	18.5	▲26.1	▲24.0	▲10.8	▲26.1	▲62.5	0.0	22.2	▲10.0
H 22. 11	▲22.4	(▲10.2)	▲19.7	▲2.7	▲20.4	▲32.7	4.1	▲32.7	▲20.0	▲7.7	▲30.0	▲50.0
H 23. 02	▲3.8	(▲9.4)	▲47.0	43.2	▲1.9	▲22.7	▲3.8	▲13.2	▲21.1	13.3	▲25.0	18.2
変化幅	18.6	0.8	-	-	18.5	10.0	▲7.9	19.5	▲1.1	21.0	5.0	68.2
H 23. 05	▲30.2	-	-	-	▲30.2	▲35.9	▲13.3	▲41.5	▲57.9	0.0	▲12.5	▲36.4
来期予測	▲26.4	-	-	-	▲28.3	▲13.2	▲9.5	▲28.3	▲36.8	▲13.3	12.5	▲54.6

④ 置賜

置賜地域の業況は、前年同期比、「良い」超、前期比「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は 6.1(1.5 ポイント上昇)となり、4 期連続の改善となった。業種別にみると大雪による除雪作業の需要があった建設業が 0.0(21.5 ポイント上昇)と回復し、製造業が 18.2(6.8 ポイント下落)、サービス業では▲20.0(28.3 ポイント下落)とともに悪化した。

なお、業況の先行き見通しは、▲18.4(24.5 ポイント下落)となっており、サービス業以外で悪化する見込みである。

図 19 置賜「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

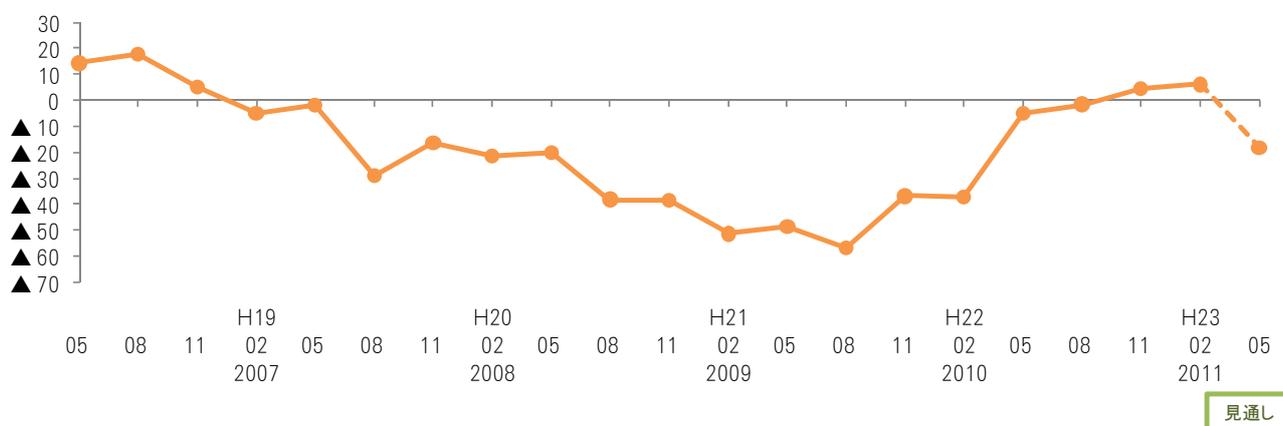
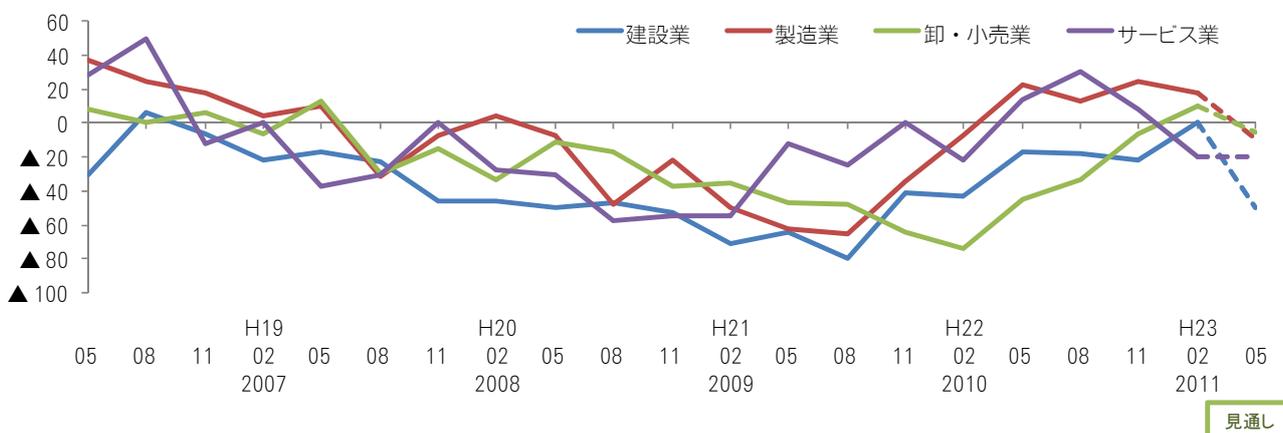


図 20 置賜「業種別・自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



置賜 調査時	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	▲ 37.0	(▲ 32.8)	▲ 36.8	▲ 0.2	▲ 37.0	▲ 41.1	▲ 28.7	▲ 37.0	▲ 42.8	▲ 7.4	▲ 74.0	▲ 22.2
H 22. 05	▲ 5.1	(▲ 11.5)	▲ 30.2	25.1	1.3	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 20.5	▲ 16.6	23.1	▲ 45.0	14.3
H 22. 08	▲ 1.5	(▲ 5.9)	▲ 34.7	33.2	7.3	▲ 13.2	▲ 1.5	▲ 17.7	▲ 17.7	13.0	▲ 33.3	30.7
H 22. 11	4.6	(3.1)	▲ 22.1	26.7	7.7	▲ 4.6	▲ 1.5	▲ 16.9	▲ 21.5	25.0	▲ 6.7	8.3
H 23. 02	6.1	(▲ 9.2)	▲ 29.2	35.3	13.8	▲ 12.3	▲ 4.7	▲ 18.5	0.0	18.2	10.5	▲ 20.0
変化幅	1.5	▲ 12.3	-	-	6.1	▲ 7.7	▲ 3.2	▲ 1.6	21.5	▲ 6.8	17.2	▲ 28.3
H 23. 05	▲ 18.4	-	-	-	▲ 18.5	▲ 26.1	▲ 1.5	▲ 32.3	▲ 50.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 20.0
来期予測	変化幅	▲ 24.5	-	-	▲ 32.3	▲ 13.8	3.2	▲ 13.8	▲ 50.0	▲ 27.3	▲ 15.8	0.0

⑤ 庄内田川

庄内田川地域の業況は、前年同期比、前期比とも「悪い」超。「自社の業況D I 値」(前年同期比)は▲12.6(14.9 ポイント下落)となり、5期連続していた回復がストップした。業種別にみると卸・小売業で▲22.7(33.8 ポイント下落)、サービス業で▲38.9(43.9 ポイント下落)と大きく悪化している。

なお、業況の先行き見通しは、▲22.1(9.5 ポイント下落)となっており、業種別によりバラツキがみられる。

図 21 庄内田川「自社業況D I 値」(前年同期比)の推移

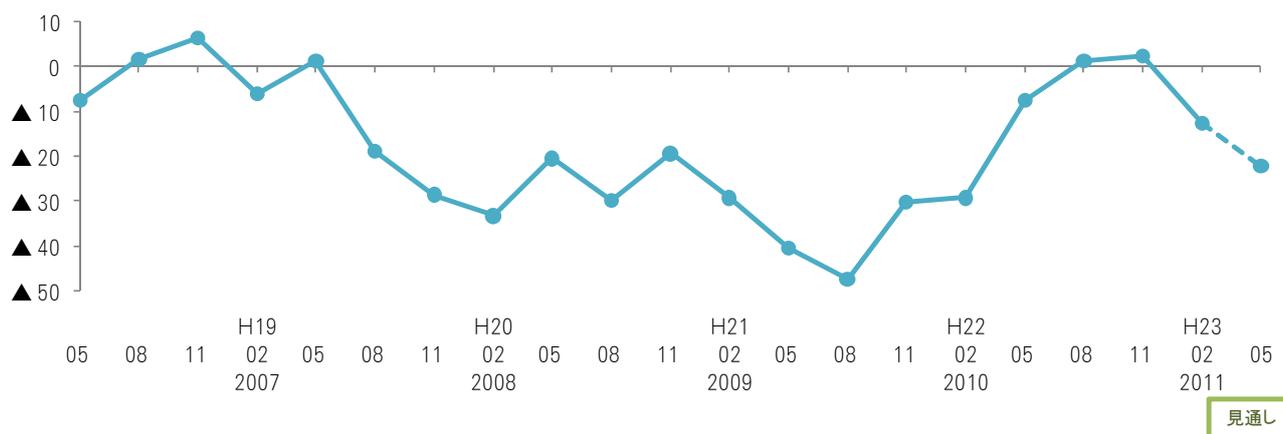
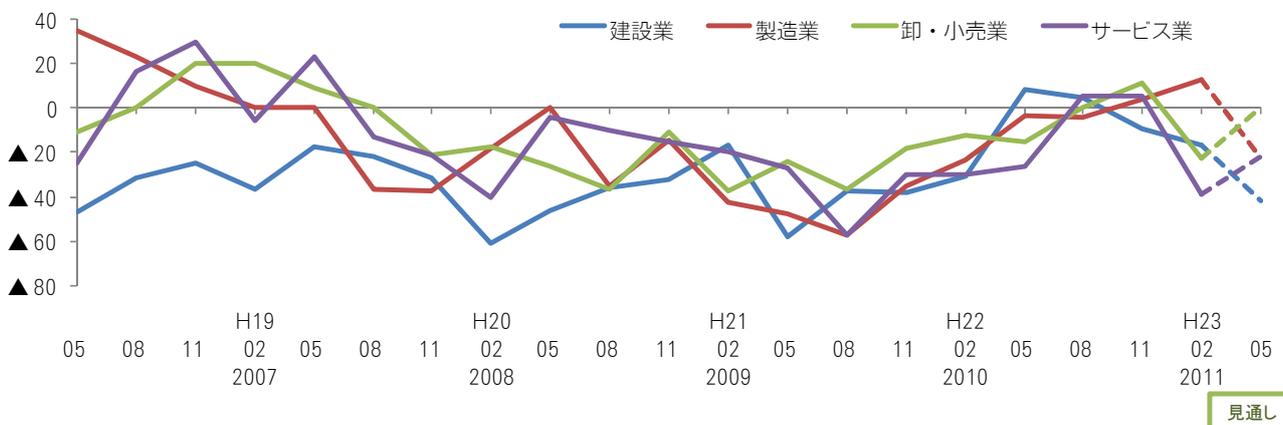


図 22 庄内田川「業種別・自社業況D I 値」(前年同期比)の推移



調査時	庄内田川 自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	▲29.3	(▲28.1)	▲30.5	1.2	▲24.4	▲26.9	▲12.2	▲23.2	▲30.5	▲23.1	▲12.5	▲88.9
H 22. 05	▲7.6	(▲10.9)	8.3	▲15.9	▲9.8	▲8.7	▲24.0	▲16.3	8.3	▲3.5	▲15.0	▲26.3
H 22. 08	1.1	(11.3)	4.3	▲3.2	0.0	10.2	▲1.2	▲4.5	4.3	▲3.9	0.0	5.2
H 22. 11	2.3	(▲8.2)	▲3.4	5.7	0.0	▲5.8	▲2.3	▲11.6	▲9.5	3.7	11.1	5.0
H 23. 02	▲12.6	(▲10.5)	▲17.4	4.8	▲6.3	▲7.3	▲1.1	▲9.5	▲16.7	12.9	▲22.7	▲38.9
変化幅	▲14.9	▲2.3	-	-	▲6.3	▲1.5	1.2	2.1	▲7.2	9.2	▲33.8	▲43.9
H 23. 05	▲22.1	-	-	-	▲16.9	▲20.0	1.0	▲27.3	▲41.6	▲22.6	0.0	▲22.2
来期予測	▲9.5	-	-	-	▲10.6	▲12.7	2.1	▲17.8	▲24.9	▲35.5	22.7	16.7

⑥ 庄内飽海

庄内飽海地域の業況は、前年同期比、前期比で「悪い」超。「自社の業況DI値」(前年同期比)は▲5.3(4.2ポイント下落)で2期連続の悪化となった。業種別にみると建設業が▲20.0(24.6ポイント下落)、サービス業で▲13.1(17.6ポイント下落)と悪化が見られた。製造業では8.0(19.5ポイント上昇)と回復し、再びプラスに転じた。

なお、業況の先行き見通しは、▲19.1(13.8ポイント下落)となり、サービス業以外の業種で悪化が懸念されている。

図 23 庄内飽海「自社の業況DI値」(前年同期比)の推移

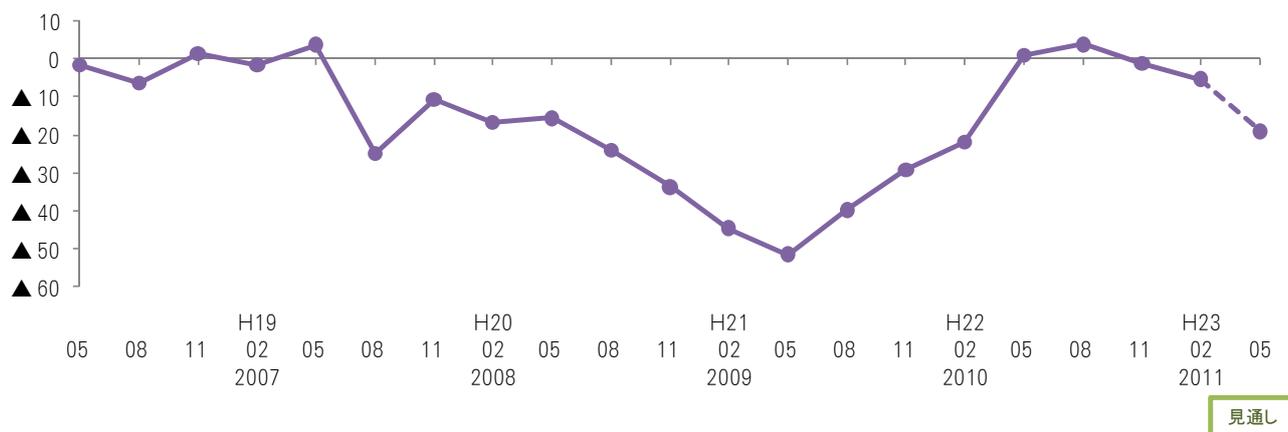
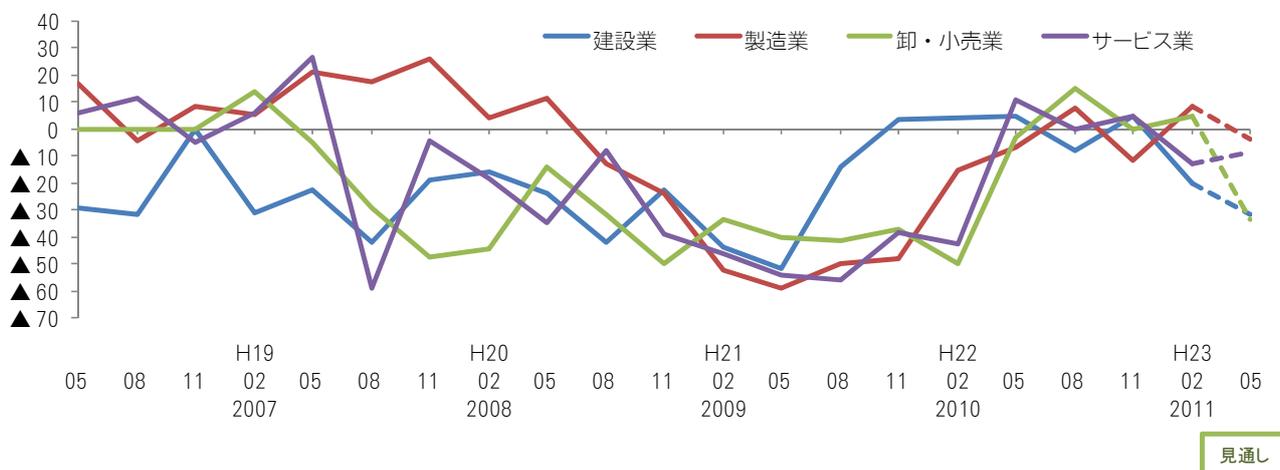


図 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値」(前年同期比)の推移



庄内飽海 調査時	自社業況 (前年同期比)				売上高	営業利益	人員人手	資金繰り	業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	(前期比)	前期予測	乖離幅					建設	製造	卸・小売	サービス
H 22. 02	▲ 21.8	(▲ 19.6)	▲ 36.8	15.0	▲ 23.0	▲ 25.3	▲ 9.2	▲ 16.1	4.0	▲ 15.4	▲ 50.0	▲ 35.8
H 22. 05	1.0	(2.8)	▲ 32.2	33.2	▲ 6.5	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 6.5	4.4	▲ 7.1	▲ 3.5	10.7
H 22. 08	3.8	(22.4)	▲ 18.5	22.3	10.6	1.0	3.9	▲ 3.9	▲ 8.0	7.4	14.8	0.0
H 22. 11	▲ 1.1	(10.6)	▲ 8.7	7.6	11.5	▲ 10.5	11.6	▲ 10.5	4.6	▲ 11.5	0.0	4.5
H 23. 02	▲ 5.3	(▲ 3.2)	▲ 27.3	22.0	▲ 2.2	▲ 16.0	0.0	▲ 11.7	▲ 20.0	8.0	4.7	▲ 13.1
変化幅	▲ 4.2	▲ 13.8	-	-	▲ 13.7	▲ 5.5	▲ 11.6	▲ 1.2	▲ 24.6	19.5	4.7	▲ 17.6
H 23. 05	▲ 19.1	-	-	-	▲ 17.1	▲ 22.4	7.5	▲ 24.4	▲ 32.0	▲ 4.0	▲ 33.3	▲ 8.7
来期予測	変化幅	▲ 13.8	-	-	▲ 14.9	▲ 6.4	7.5	▲ 12.7	▲ 12.0	▲ 12.0	▲ 38.0	4.4

II. 景気の天気予報図

山形県

今期の業況: ☁️ → 来期の見通し: ☁️/☔️

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$DI \geq 30$	$30 > DI \geq 10$	$10 > DI \geq \blacktriangle 10$	$\blacktriangle 10 > DI \geq \blacktriangle 30$	$\blacktriangle 30 > DI$
☀️	☀️/☁️	☁️	☁️/☔️	☔️

庄内飽海

今期の業況: ☁️ → 来期の見通し: ☁️/☔️

最上

今期の業況: ☁️ → 来期の見通し: ☔️

庄内田川

今期の業況: ☁️/☔️ → 来期の見通し: ☁️/☔️

村山北部

今期の業況: ☁️/☔️ → 来期の見通し: ☔️

村山南部

今期の業況: ☁️ → 来期の見通し: ☁️/☔️

置賜

今期の業況: ☁️ → 来期の見通し: ☁️/☔️

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	☁️	☁️	☁️/☔️	☁️	☁️	☁️/☔️	☁️
建設業	☁️/☔️	☁️/☔️	☔️	☁️/☔️	☁️	☁️/☔️	☁️/☔️
製造業	☁️	☁️	☁️/☔️	☀️/☁️	☀️/☁️	☀️/☁️	☁️
卸・小売業	☁️	☁️	☔️	☁️/☔️	☀️/☁️	☁️/☔️	☁️
サービス業	☁️	☁️	☁️/☔️	☀️/☁️	☁️/☔️	☔️	☁️/☔️



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	☁️/☔️	☁️/☔️	☔️	☔️	☁️/☔️	☁️/☔️	☁️/☔️
建設業	☔️	☁️/☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
製造業	☁️/☔️	☁️	☁️/☔️	☁️	☁️	☁️/☔️	☁️
卸・小売業	☁️/☔️	☁️/☔️	☁️/☔️	☁️/☔️	☁️	☁️	☔️
サービス業	☁️/☔️	☁️/☔️	☔️	☔️	☁️/☔️	☁️/☔️	☁️

III. 特別調査：雇用について

22年10月以降に実施した(あるいは実施している)雇用調整の状況について尋ねたところ、最も多かったのは「残業規制」の24.4%であった。また「ワークシェアリング」は22年度調査に比べて3.0ポイント低下、「従業員の削減」は0.7ポイント上昇した。昨年よりも景気が回復していることを受けて雇用調整を実施している企業は減少傾向にある。

図 25 雇用調整の実施状況

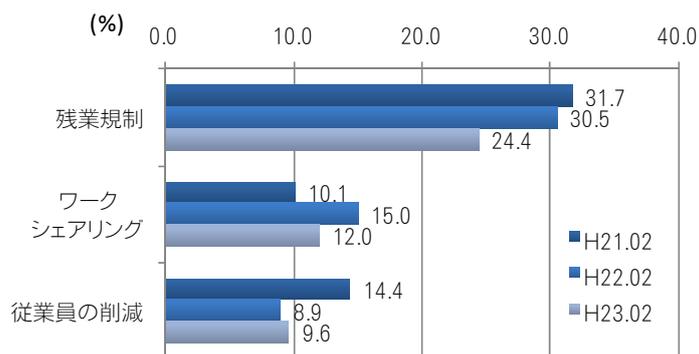
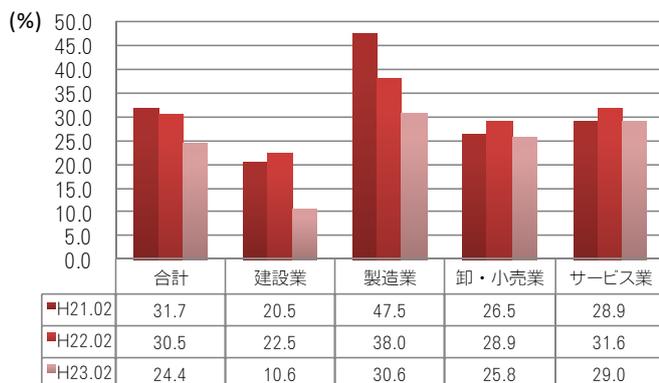
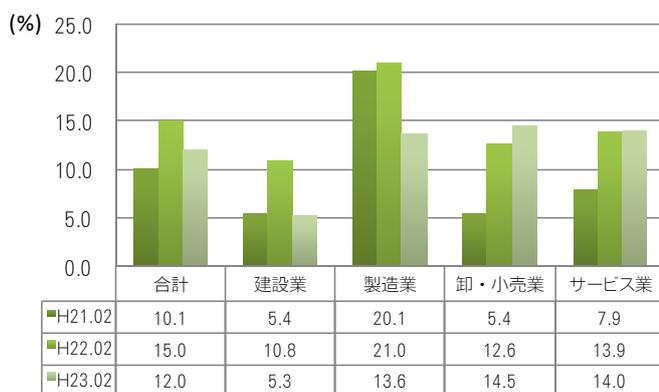


図 26 「残業規制」の実施状況



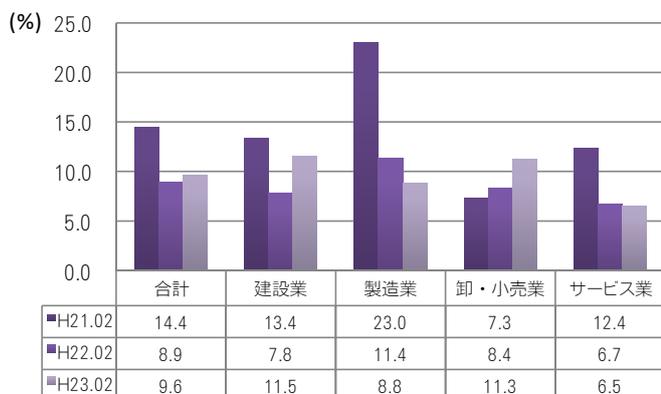
「残業規制」を実施している企業は前年と比較すると全業種において減少している。業種別にみると製造業ではリーマンショックの影響を受けた21年調査に47.5%と高水準となったが、年々減少傾向にあり今回の調査では30.6%と縮小した。

図 27 「ワークシェアリング」の実施状況



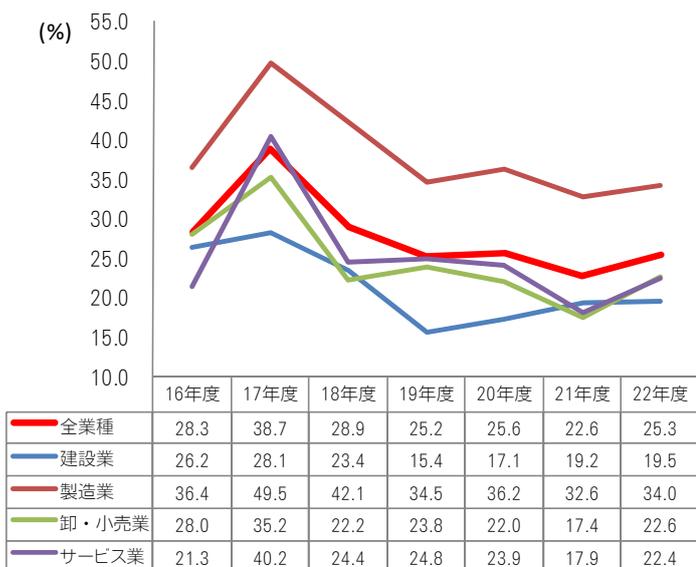
「ワークシェアリング」を実施している企業は前年と比較すると3.0ポイント減少した。業種別にみると前年比では建設業、製造業において減少、卸・小売業ではやや増加傾向にある。

図 28 「従業員の削減」の実施状況



「従業員の削減」を実施している企業は前年と比較すると0.7ポイント増加している。業種別にみると前年比では建設業、卸・小売業において増加、製造業、サービス業において減少となった。製造業においては8.8%であり減少幅が縮小している。一方で建設業では公共工事の縮小などから再び実施する企業が増加しており、卸・小売業においても増加傾向にある。

図 29 「新規学卒業者」の採用状況



22年4月の新規学卒業者の採用状況について尋ねたところ全業種で25.3%の企業が「新卒採用」を行い、前年と比較すると2.7ポイント上昇している。業種別にみると製造業が34.0%と高く、20年から水準は変化していない。また、卸・小売業、サービス業では近似した推移をしており、ともに上昇している。建設業では20年を底に緩やかな上昇が持続しているが依然低水準となっている。

<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	合計
村山南部	24	39	54	54	171
村山北部	23	37	18	19	97
最上	22	16	11	18	67
置賜	23	33	27	20	103
庄内田川	31	38	31	36	136
庄内飽海	38	34	35	38	145
合計	161	197	176	185	719

(回答数：社)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	合計
村山南部	17	28	42	33	120
村山北部	14	26	12	12	64
最上	19	15	8	11	53
置賜	14	22	19	10	65
庄内田川	24	31	22	18	95
庄内飽海	25	25	21	23	94
合計	113	147	124	107	491

(回答率：%)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	合計
村山南部	70.8%	71.8%	77.8%	61.1%	70.2%
村山北部	60.9%	70.3%	66.7%	63.2%	66.0%
最上	86.4%	93.8%	72.7%	61.1%	79.1%
置賜	60.9%	66.7%	70.4%	50.0%	63.1%
庄内田川	77.4%	81.6%	71.0%	50.0%	69.9%
庄内飽海	65.8%	73.5%	60.0%	60.5%	64.8%
合計	70.2%	74.6%	70.5%	57.8%	68.3%

(全体回答割合：%)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	合計
村山南部	3.5%	5.7%	8.6%	6.7%	24.4%
村山北部	2.9%	5.3%	2.4%	2.4%	13.0%
最上	3.9%	3.1%	1.6%	2.2%	10.8%
置賜	2.9%	4.5%	3.9%	2.0%	13.2%
庄内田川	4.9%	6.3%	4.5%	3.7%	19.3%
庄内飽海	5.1%	5.1%	4.3%	4.7%	19.1%
合計	23.0%	29.9%	25.3%	21.8%	100.0%

(業種別回答割合：%)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	合計
村山南部	14.2%	23.3%	35.0%	27.5%	100.0%
村山北部	21.9%	40.6%	18.8%	18.8%	100.0%
最上	35.8%	28.3%	15.1%	20.8%	100.0%
置賜	21.5%	33.8%	29.2%	15.4%	100.0%
庄内田川	25.3%	32.6%	23.2%	18.9%	100.0%
庄内飽海	26.6%	26.6%	22.3%	24.5%	100.0%
全地域	23.0%	29.9%	25.3%	21.8%	100.0%

(地域別回答割合：%)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業	全業種
村山南部	15.0%	19.0%	33.9%	30.8%	24.4%
村山北部	12.4%	17.7%	9.7%	11.2%	13.0%
最上	16.8%	10.2%	6.5%	10.3%	10.8%
置賜	12.4%	15.0%	15.3%	9.3%	13.2%
庄内田川	21.2%	21.1%	17.7%	16.8%	19.3%
庄内飽海	22.1%	17.0%	16.9%	21.5%	19.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部F A Xを利用)。

● 調査期間

平成23年2月7日～18日

● 調査対象企業

「参考資料Ⅰ」の通り。

● 調査時期ならびに結果公表のスケジュール

調査の対象 ^[注1]	調査時期	公表(速報版 ^[注2])	公表(確報版)
前年10-12月期	2月	2月下旬	-
1-3月期	5月	5月下旬	6月
4-6月期	8月	8月下旬	-
7-9月期	11月	11月下旬	12月

(注1) 回答はすべて直近の四半期決算をベースに依頼している。調査の対象となった企業によっては決算期が異なる場合もあるが、レポートをまとめるにあたっては決算期を表3-1に掲載した「調査の対象」に統一している。

(注2) 「速報版」とは、アンケート調査の結果を単純集計したものを指し、ヒアリング調査や各種分析結果を含まない内容のこと。「確報版」とは、アンケート調査とヒアリング調査の結果を踏まえて、当社が独自に分析した結果を報告するものを指す。

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項目	選択肢（択一方式）
自社の業況（共通項目）	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ(<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.f-ric.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所
 研究開発グループ 熊本 均 / 梅木 倫行
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F
 TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038
 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>